

令和2年 宮城県内における死亡災害発生の概要

令和3年4月9日現在速報

番号	業種	労働者数	事故の型	災害の内容
	発生月	時間帯	起因物	
1	木材伐出業 (6.2.1)	10～49人	激突され	民有地である山林で伐倒作業中の樹木が裂け、倒れてきた伐木が被災者に激突した。(樹種：杉 立木全長約25m)
	1月	11時台	立木等	
2	水産食料品 製造業 (1.1.2)	50～99人	おぼれ	被災者が溺死したもの。被災者発見時、トラックは岸壁に停車されており、海水吸込み用のポンプが設置された状態であった。
	1月	9時台	水	
3	木材伐出業 (6.2.1)	1～10人	激突され	山林で伐木作業に従事していた被災者が、倒木の下敷きとなっている状態で発見された。災害発生前にかかり木の掛かっていた立木を伐木していた。
	2月	14時台	立木等	
4	その他の鉄鋼 業 (1.10.9)	10～49人	激突され	①被災者は、足場にしていた鉄板Aごと墜落し、リフティングマグネットから外れて落下した鉄板Bとの間に挟まれた。 ②被災者は高さ約2mに積まれた鉄板Aの上からリフティングマグネット付きクレーンを操作し、鉄板Bをつり上げて移動させていたところ、鉄板Aと鉄板Bが接触した可能性がある。
	2月	20時台	クレーン	
5	一般貨物自動 車運送業 (4.3.1)	10～49人	交通事故 (道路)	被災者の運転するワンボックスカーが東北自動車道を走行中、中央分離帯を突き破り、入ってきた反対車線のトラックに衝突された。その後、被災者の車両は、後続の大型トラックに追突された。
	4月	22時台	乗用車	
6	水産食料品 製造業 (1.1.2)	10～49人	おぼれ	被災者が事業場敷地内の排水を処理するための沈殿槽内で倒れていた。 沈殿槽の大きさは幅・奥行・深さとも約1mで、足首くらいの高さまでの水が入っていた。
	5月	9時台 (推定)	水	
7	電子機器用・通 信機器用部品製 造業 (1.14.3)	100～299 人	有害物等 との接触	焼結炉内に落ちた異物を回収しようと、炉内に立ち入った労働者Aと、労働者Aを助けるために炉内に入った労働者Bの2名が、窒息により死亡した。
	7月	8時台	異常環境等	
8	電子機器用・通 信機器用部品製 造業 (1.14.3)	100～299 人	有害物等 との接触	同上
	7月	8時台	異常環境等	

(注)速報をとりまとめたものであり、今後、修正・削除される可能性がある。

令和2年 宮城県内における死亡災害発生の概要

令和3年4月9日現在速報

番号	業種	労働者数	事故の型	災害の内容
	発生月	時間帯	起因物	
9	農業 (060101)	1～10人	高温・低温の物との接触	農作業に従事していた被災者が、休憩中に倒れているところを発見された。(熱中症) 当日の天気は曇、16時台の気温はおおよそ30℃であった。
	9月	16時台	高温・低温環境	
10	産業廃棄物処理業 (150102)	21～30人	墜落、転落	走行中のあおりのない貨物自動車の荷台に座っていた被災者が、車外へ投げ出され、地面に激突した。保護帽は着用していた。
	9月	16時台	トラック	
11	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業 (030201)	10～49人	交通事故(道路)	現場作業を終えた労働者が、宿泊施設から所属事業場(県外)に戻る際、有料自動車道上(県外)において落下物を避けきれず、車両が横転し、乗車していた労働者2名が死亡したもの。
	8月	9時台	乗用車	
12	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業 (030201)	10～49人	交通事故(道路)	同上
	8月	9時台	乗用車	
13	道路建設工事業 (030106)	10～49人	激突され	L字型コンクリート擁壁を、移動式クレーンで荷降ろし後、擁壁の玉掛箇所(3箇所)のうち1箇所を外さないまま、クレーンワイヤーを巻き上げた為、擁壁が倒れ、玉掛者であった被災者が下敷きとなった。
	12月	16時台	玉掛用具	
14	一般貨物自動車運送業 (4.3.1)	10～49人	交通事故(道路)	10tトラックが有料自動車道のインターチェンジ出口付近のカーブでガードレールに衝突し横転したもの。
	8月	10時台	トラック	
15	その他の卸売業 (8.1.9)	10～49人	交通事故(道路)	軽ワゴン車を運転中、対向車線にはみ出し、トラックと正面衝突した。
	10月	15時台	トラック	

(注)速報をとりまとめたものであり、今後、修正・削除される可能性がある。